

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ●校歌 ●Let's Sing! 歌うための準備	2	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう			歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む
旋律のまとまりと拍子や強弱を意識してし表現しよう ●「アニーローリー」 ●「希望という名の花を」	2	主旋律や曲の山場を確かめながら表現を工夫しよう	創意工夫を生かした表現で歌うために必要なはっせう、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	歌唱表現イー(イ)の知識やウー(ア)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	曲のまとまりについて興味・関心をもち、それらを生かした歌唱の表現に主体的意欲的に取り組む。
詩(ソネット)の内容と曲想との関わりを感じ取って ●「春」(ヴィヴァルディ作曲)	3	物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	詞の内容と曲想との関わりや、音楽の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
心を伝え合う歌い方を求めて ●混声三部合唱	3	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて工夫を生かして歌唱することができる。曲想と音楽の構造や歌う技能を身に付ける。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む。
歌詞と旋律との関わりを感じ取って ●「夏の思い出」「赤とんぼ」	2	言葉と旋律との関わりを感じ取って表現を工夫しよう	正しい音の高さ、リズムなどの基本的な技能を身に付け、表現の工夫を生かして歌唱することができる。曲想と音楽の構造や菓子の内容の関わりについて理解する。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	曲想や言葉の特性に関心をもち、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

<p>歌唱表現の工夫 ●合唱コンクール曲</p>	11	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌おう</p>	<p>曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら歌うなどの基礎的な技能を身につけている。</p>	<p>曲種に応じた発声により、歌詞の内容や言葉の抑揚を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的、協働的に取り組んでいる。</p>
<p>アジアの音楽の魅力を求めて ●日本とアジア地域の様々な音楽</p>	3	<p>アジア地域の諸民族の音楽の音楽について、楽器や声の特徴、音楽の多様性を感じ取ろう</p>	<p>鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。我が国の強度の伝統音楽、及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解</p>	<p>鑑賞に関わるイー(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さを味わって聴く。</p>	<p>アジア地域の諸民族の音楽の音楽について、楽器の特徴、音楽の多様性に関心を持ち学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>和楽器に挑戦しよう ●器楽「さくらさくら」「六段の調べ」</p>	3	<p>箏の音色を味わいながら、楽器の特徴を生かして表現したり鑑賞したりしよう</p>	<p>箏の音色を奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。</p>	<p>器楽表現に関わるイー(イ)の知識やウー(ア)の技能を得たり生かしたりしながら器楽表現を創意工夫する。曲の構造と曲想との関わりを感じ取り理解したり価値を考えた</p>	<p>箏の特徴や箏曲「六段の調」の構造と曲想との関わりに関心を持ち、基本的な奏法で演奏したり鑑賞したりする学習に主体的意欲的に取り組む。</p>
<p>詩の内容と曲想との関わりを感じ取って ●「魔王」(シューベルト作曲)</p>	3	<p>物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。</p>	<p>鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。</p>	<p>詞の内容と曲想との関わりや、音楽の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>リズム創作・演奏をしよう ●「くいしんぼうのラップ」 ●「打楽器のための小品」</p>	9	<p>身近な言葉のリズムを感じ取り、それを生かして簡単なリズム曲をつくろう</p>	<p>言葉のリズムや反復、変化、対照などの構成、全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくったり演奏したりしている。</p>	<p>音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。構成、全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫する。</p>	<p>言葉のリズムや反復、変化、対照などの構成、全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったり合わせて演奏したりする学習に主体的、協働的に取り組む。</p>
<p>音楽で気持ちを伝えよう ●卒業式歌等</p>	4	<p>歌詞や速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取って思いを込めて歌おう。</p>	<p>歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けて演奏することができる。</p>	<p>速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、どのように演奏するか、思いや意図をもっている</p>	<p>歌詞の内容や曲想に興味を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。</p>

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ●既習曲	1	これまでの音楽活動を振り返ったり、これからの学習に興味をもとう			歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む
人間と音楽の関わりを考えよう ●諸外国の伝統音楽	1	人間の生活と音楽の深い関わりを感じとろう。	鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	それぞれの曲が、その雰囲気を生み出すために音楽の諸要素がどのように働いているかについて関心をもち、人間と音楽の関わりについて主体的に考えようとしている。
曲想の変化を理解し、表現を工夫しよう ●時の旅人	4	曲想の変化を理解し、曲にふさわしい音楽表現をするための歌唱表現の技能を身に付けて歌おう。	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて工夫を生かして歌唱することができる。 曲想と音楽の構造や歌う技能を身に付ける。の内容との関わり	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む。
音楽の構成に注目して名曲を楽しもう ●交響曲第五番ハ短調	2	音楽の構成の仕方を理解し、交響曲を観賞しよう	鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造と曲の関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
リズム創作 ●音のスケッチ 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作	2	リズムパターンをつくろう	音素材の特徴及び音の重なり、反復、変化、対象などの構造上の特徴を理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に合った音の選択	創作表現に関わるイー(イ)の知識やウの技能を生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。	創作表現に関わる知識や技能を生かしたりしながらまとまりのある創作表現を創意工夫する学習委主体的協働的に取り組む。

# 令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第一中学校

<p>歌唱表現の工夫 ●合唱コンクール曲</p>	12	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌おう</p>	<p>曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら歌うなどの基礎的な技能を身につけている。</p>	<p>曲種に応じた発声により、歌詞の内容や言葉の抑揚を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的、協働的に取り組んでいる。</p>
<p>日本の伝統音楽の魅力 ●雅楽「越天楽」</p>	3	<p>日本の伝統的な楽器を知り、雅楽の表現の特徴を理解し、聴き、深めよう。</p>	<p>音がkの特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関連について理解する。鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。</p>	<p>鑑賞にかかわるイー(イ)の知識を生かしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>鑑賞にかかわる知識を得たり、生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さを味わって聴く学習に主体的意欲的に取り組む。</p>
<p>リズム創作 ●音のスケッチ 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作</p>	2	<p>リズムパターンをつくろう</p>	<p>音素材の特徴及び音の重なり、反復、変化、対象などの構造上の特徴を理解する。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に合った音の選択</p>	<p>創作表現に関わるイー(イ)の知識やウjの技能を生かしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p>	<p>創作表現の知識や技能を生かしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的、協働的に取り組む。</p>
<p>和楽器に挑戦しよう ●箏「荒城の月」</p>	2	<p>箏の基本的な奏法を身に付け表現を工夫しよう</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付ける。</p>	<p>器楽表現に関わるイー(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい器楽表現をする学習に意欲的に主体的に取り組む。</p>
<p>音楽で気持ちを伝えよう ●卒業式歌等</p>	4	<p>歌詞や速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取って思いを込めて歌おう。</p>	<p>歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けて演奏することができる。</p>	<p>歌唱表現に関わるイー(イ)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>歌詞の内容や曲想に興味を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。</p>
<p>音楽と特徴をとらえて、情景を想像しよう ●「ブルタバ」</p>	2	<p>オーケストラの豊かな表現を観賞しよう</p>	<p>曲想と音楽の関わりについて理解する。鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。</p>	<p>鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かしながら曲の演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさを味わって聴く学習に主体的意欲的に取り組む。</p>

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ●既習曲	1	これまでの音楽活動を振り返ったり、これからの学習に興味をもとう			歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む
日本の歌曲の魅力を味わう ●「花」	3	曲の構成を生かし、日本の歌の魅力を味わって表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の内息などの技能	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(ア)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的意欲的に取り組む。
舞台芸術 ●歌舞伎勸進帳	2	歌舞伎の豊かな表現を觀賞しよう	我が国の郷土の伝統音楽及び諸外国のさまざまな音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	鑑賞に関するイー(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさを味わって聴く学習に主体的意欲的に取り組む。
創作 ●短い旋律の反復を活用した音楽づくり	2	CMソングをつくろう	音素材の特徴及び音の重なり、反復、変化、対象などの構造上の特徴を理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に合った音の選択	創作表現に関わるイー(イ)の知識やウの技能を生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。	創作表現に関わる知識や技能を生かしたりしながらまとまりのある創作表現を創意工夫する学習委主体的協働的に取り組む。
歌唱表現の工夫 ●合唱曲	3	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌おう	曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら歌うなどの基礎的な技能を身につけている。	曲種に応じた発声により、歌詞の内容や言葉の抑揚を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的、協働的に取り組んでいる。

# 令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第一中学校

<p>音楽の構造と曲想とのかわりを理解して ●「ボレロ」</p>	<p>2</p>	<p>曲の構成の面白さを味わいながら鑑賞しよう</p>	<p>曲想と音楽の構造との関りと理解する。 鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。</p>	<p>鑑賞にかかわるイー(ア)の知識を生かして、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>鑑賞にかかわる知識を得たり、生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さを味わって聴く学習に主体的に取り組む。</p>
<p>歌唱表現の工夫 ●合唱コンクール曲</p>	<p>9</p>	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌おう</p>	<p>曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら歌うなどの基礎的な技能を身につけている。</p>	<p>曲種に応じた発声により、歌詞の内容や言葉の抑揚を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的、協働的に取り組んでいる。</p>
<p>舞台芸術 ●オペラ「アイダ」</p>	<p>3</p>	<p>オペラを味わいながら観賞しよう</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関りについて理解する。 聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わ</p>	<p>鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かしながら曲の演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 生活や社会における音楽の音</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さを味わって聴く学習に主体的意欲的に取り組む。</p>
<p>和楽器に挑戦しよう ●箏「荒城の月」等</p>	<p>1</p>	<p>箏の基本的な奏法を身に付け表現を工夫しよう</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付ける</p>	<p>器楽表現に関わるイー(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい器楽表現をする学習に意欲的主体的に取り組む。</p>
<p>舞台芸術の鑑賞 ●バレエ「白鳥の湖」</p>	<p>2</p>	<p>オペラを味わいながら観賞しよう</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関りについて理解する。 聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わ</p>	<p>鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かしながら曲の演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 生活や社会における音楽の音</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さを味わって聴く学習に主体的意欲的に取り組む。</p>
<p>音楽で気持ちを伝えよう ●卒業式歌等</p>	<p>7</p>	<p>歌詞や速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取って思いを込めて歌おう。</p>	<p>歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けて演奏することができる。</p>	<p>歌唱表現に関わるイー(イ)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>歌詞の内容や曲想に興味を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。</p>